

「つながろう ともに生きるわたしたち ～優しさの輪をひろげよう～」

<学習成果物>

<ul style="list-style-type: none"> ・ちいきや社会ではさまざまな人たちがくらしている ・福祉（ふくし）…だれもが自分らしく幸せに生きること →そのためにわたしたちにできること 	 <p>車いすの方だけでなくけがをしている人なども使えるちゅう車場がある</p>
<p>【大変なこと】</p> <p>①インタビューから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腰や体が痛い ・目が見えづらい、ぼんやり（小さい字が見えづらい） ・耳が聞こえづらい ・手やあしが動きづらい、つまずく ・ペットボトルがあげづらい ・物忘れ 	<p>かいごしさんが大切にしていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうの心を大切にしている ・ 「人を手伝う」（当たり前のこと） ・ 利用者さんを 笑顔にする ・ 安心してらせるお家にすること
<p>1ばんが考えた 「自分にできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声を大きくする、口を大きくあける ・ 指をさす ←耳が聞こえづらい ・ かわりに物をとったり開けたりする ←物をつかみづらい ・ いっしょに遊んでえがおにする ←まごと会うのがうれしい ・ かわりによむ ・ おてがみをわたすときじを大きくする ←小さい字が見えづらい 	<p>2はんが考えた 「自分にできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいてのきもちになって会話すること ←まごと話すのがうれしい ・ しゅうかくしたものをいっしょに持つ ←いっしょに畑仕事がうれしい ←足腰がいたい ・ いっしょにチェックする ←にんちしょう、物忘れ
<p>3ばんが考えた 「自分にできること」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かいだんのぼりおりでおじいちゃんおばあちゃんがこまっていたら体をささえて手伝う ←体の動きがわるくなる、つまずく ・ でんしゃのなかでおばあさんがたっていたら、せきをゆずる ←体のいたみ ・ おじいちゃんおばあちゃんにあったら、話したり、遊んだりする。 ←まごと会う、話すのがうれしい 	<p>【手話体験から】 最初から手話じゃなくても ジェスチャーを使ったり、 ゆっくりと口を大きく開けて話したり することが大切！ まずはこまっている人に声をかけてみましょう。</p> <p>ゆうきを出してこえをかける。 肩をトントンしてきづかせる。</p>
<p>こまっている人に 勇気をもって声をか けてほしい</p>	 <p>やさしさはそうどう力から生まれる</p>

